

楽しいことは？

資料を読み解くだけでなく、実際に現地に行って土地や建物の状況を調査するのも不動産鑑定士の仕事の一つです。行ったことのない場所に行く機会がたくさんあるので、いつも新鮮な気持ちで仕事ができます。

どんな仕事ですか？

不動産鑑定士は国家資格。「不動産鑑定評価基準」という国の基準に沿って、土地や建物の適正な価格を算出することが主な仕事です。算出した価格は、売買などの参考にされたり、固定資産税などの税金を計算する基になったりしています。

目指したきっかけは？

不動産鑑定士という仕事を知っている学生さんは少ないと思います。私も就職を考える頃までは、知りませんでした。いろんな職種を調べる中で、「デスクワークとフィールドワークのバランスが良い」ところに魅力を感じました。



ふ どうさんかんていし
不動産鑑定士

う え た ゆ た か
植田 豊隆 さん
しも の せ き し し ゅ つ し ん
下関市出身

仕事図鑑



このページは、小・中学生、高校生を対象に市内で働く人・職業を紹介しています。先輩たちのメッセージを参考に、未来の自分を探してみませんか。

いくのです。建物の適正な価値を見極めるの取引事例などを基に、さまざまな手法を使って、土地や建物の適正な価値を見極める

えます。に必要客観的な資料をそろえ、登記簿謄本など、依頼主から提供を受けたり、市役所や法務局で取得したりして、鑑定業務で必要な資料をそろえ、

鑑定、お願いします！
不動産鑑定士の仕事は、まずは資料を集めることから始まります。土地や建物の図面、登記簿謄本など、依頼主から提供を受けたり、市役所や法務局で取得したりして、鑑定業務で必要な資料をそろえ、

公平性を守る大切な仕事



道路の幅を測量。実際に現地に行き情報を集めます。



算出した価格や根拠を不動産鑑定評価書にまとめていきます。

